

2年生進路ガイダンス

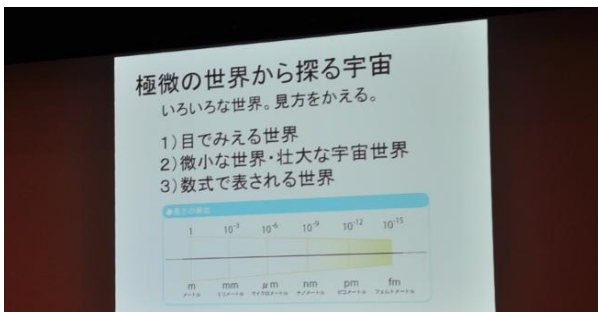
7月8日(水曜日)、期末考査最終日、「2年生進路ガイダンス」を開催しました。

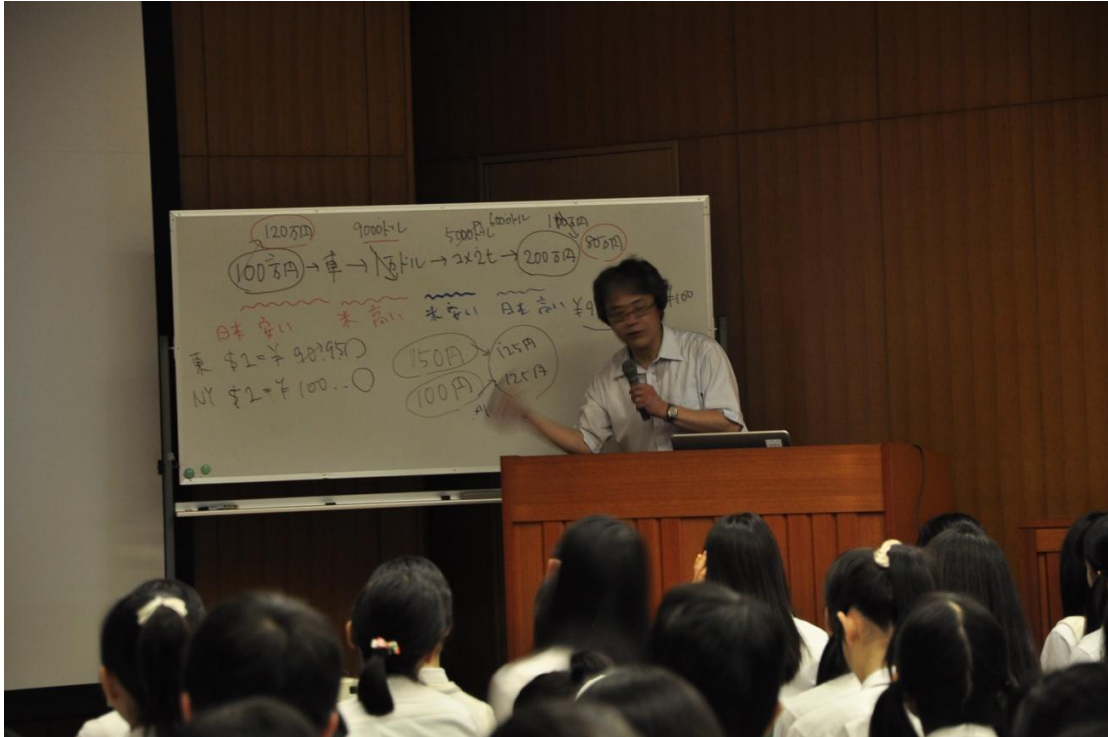
今年度は、京都大学より、経済学研究科長 経済学部長 岩本 武和 教授
理学研究科 常見 俊直 講師
広島大学より、工学研究院 中井 智司 准教授
社会科学研究院 西原 鷹一 特任助教

以上4名の先生方に講義をしていただきました。

生徒は、文型、理型に分かれ、それぞれで、お二人の先生方の講義を聴きました。

国立大学の講義の一端に触れ、自らの進路を考える上で貴重な時間となりました。





【生徒の感想より】

～文型～

- ・先生によって講義の仕方が全く違うということがわかった。大学の先生についても調べる必要があるとわかった。教え方が全く違って楽しかった。
- ・貿易の基本構造を教わることができた。倫理政経で学習するところを少し学べてよかった。経済学がどのような学問なのかが少しわかった。
- ・経済学方面に進学する予定ではないが、具体的な数値で論理的に考えることは今後の進路研究にとっても役立つと思った。数学的な考え方も文型の人間には必要なのだと感じた。
- ・ギリシャ問題など身近で具体的な説明が多く興味深かった。財政に興味をもった。政治経済の学習をがんばりたい。
- ・文学部など、様々な分野の講義も受けてみたかった。

～理型～

- ・化学という分野でも、「理学」か「工学」かで研究内容の違いがあることがわかった。
- ・化学工学で化粧品、医薬品も展開していることに驚いた。幅広く、基礎研究から実用まで範囲が広いことがわかった。発酵学も化学工業だと初めて知った。食についても興味があるのもっと知りたい。
- ・応用化学に興味をもてたので、今後の自分の入りたい学部についてしっかり考えたい。
- ・物理の楽しさをわかりやすく学べるような内容だった。思考の足跡をたどっているような感覚でとてもわかりやすかった。
- ・物理と化学を切り離さないように学習して結びつくところを探せるようにしたい。